

各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々、ウクライナの戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

10 / 30 (日) 3:00pm 工藤篤子賛美コンサート vol.13 入場無料

秋の爽やかな風とともに、地中海ソプラノの澄んだ歌声をお楽しみください。

▶感染症対策を万全にして実施します。

▶ライブ配信も行います。ホームページからご視聴いただけます。http://www.takara-eikou.com



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短期大学音楽科卒業、同短大音楽専攻科及び研究科修了。1983年マドリード国立声楽院に留学。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年「工藤篤子音楽ミニストリーズ」設立、2011年「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」に改称。カーネギー・ホールでの伝道リサイタルを始め、世界の各地で賛美を通して、救いの福音を伝えている。現在は、大阪の事務局を拠点に、賛美伝道活動を継続している。



野田常喜 (ピアノ)

京都出身。大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。第19回目は、KTさんにその経緯を語っていただきます。

私は子どもの友だちのお母さんに誘われて、教会に行くようになりました。その頃の私は、家庭の中に悲しみがあり、途方に暮れる思いでいました。何か変わるかもしれないと思って、洗礼を受けましたが、何も変わることはありませんでした。それは、神様のことをよく知ってはいなかったからなのです。

ところがある日、共同購入をしている場所に、品物を取りに行った時のことでした。誤って他の人の醤油のビンを割ってしまいました。あっという間に醤油が流れ出して、他の品物をよごしてしまいました。その光景に恐れ戸惑い、そこから逃げ出していました。その後は後悔の気持ちでいっぱいになり、後から現場に行った時には、跡形もなく片付いていました。いつも子どもたちには隠さずに正直に言うようにと教えていた自分が恥ずかしくて、自分を責め続けていました。

そんな時、ある人の話を聞き、はっと気がつか

されました。それは、自分の罪について分かったというお話でした。罪について私は、全く考えたこともありませんでした。何とかして罪の解決が欲しいと思い、牧師先生のところに行きました。そして、イエス・キリストの十字架の本当の意味を教えていただき、自分の汚い罪を告白し、私の罪の身代わりであるイエス様を心から信じ、罪の赦しを頂きました。その時語られた、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。」(マタイ9章2節)のみことばが、心に残りました。

家に帰って主人と子どもたちに謝り、もちろん醤油のビンを割った人にも謝り、償いをしました。心は平安で感謝が溢れてきました。あの時の感謝は、今も変わりません。これからもイエス様を信じ、感謝を忘れずに歩んでいきたいと心から願っています。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:30

第二部 11:00~12:00



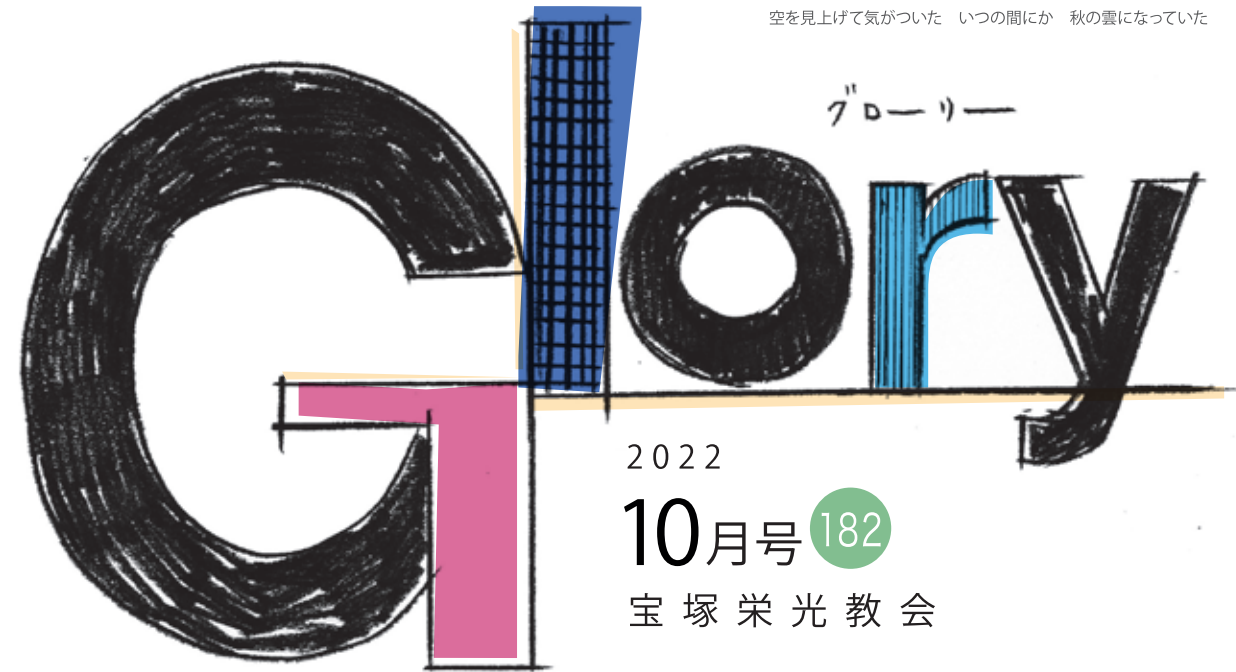
教会HP



礼拝動画

わたしたちは旧・統一協会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

空を見上げて気がついた いつの間にか 秋の雲になっていた



日々新しく

私たちの身の回りには、様々な思いがけない事が起こってきます。好ましい事もありますが、起こってほしくない事もあります。いや、後者のほうが多いでしょう。なぜこんな目にあわなければならないのかと、文句の一つも言いたくなるような事に出くわし、失望してしまうことがあるでしょう。

たいていは、諦めてしまいます。しょせんそんなものと開き直ってしまいます。しかし、それではあまりにも寂しいですね。もっと生き生きした人生があるのではないのでしょうか。あります。そのためには、私自身が根本的に新しくならなければなりません。

その秘訣は聖書の中にあります。聖書にこうあります。「ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。」(コリント人への手紙第二4章16節)

「外なる人」とは、私たちの肉体のことです。私たちの肉体は限りがあります。年をとれば機能も衰え、弱ります。鍛錬して一時的に活発にしても、時が来れば朽ち果てます。

しかし、私たちは肉体だけで存在しているわけではありません。「内なる人」があります。魂です。魂は、外の肉体の衰えとは関係なく、日々新たにされていくことができます。一生懸命自分を鍛錬することによってでも、精神修養を積むことによってでもありません。神様を信じることによってです。

天地を造られた神様は、私たちを愛してくださいました。私たちは神様に対して傲慢な罪人です。けれども神様は、そんな人間をなお愛してください、キリストをお送りになりました。キリストは、私たちの罪のために十字架にかかって死なれました。私たちが自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じれば、どのような人でも罪が赦され、救われます。この救いをいただいた時、私たちは魂が新しくなります。そして、そこから本当の新しい人生が始まっていくのです。

一度新しくなった魂は、神様のみことばに従っていくことによって、日々新しくなっています。古びることはありません。あなたもこの恵みを求めて行かれませんか。



「リンドウ」－秋を告げる花－

厳しい残暑をくぐり抜けて 待ちわびていた秋が
ゆっくりと やって来たようだ
少し高い山に行くと 青色の小さな花が 目に入った
オヤマリンドウの 小さな花だ
山で咲くので ^{おやま} 御山リンドウと呼ばれている
秋の草原や湿地には 小さなリンドウの花が
あちこちに咲くのだ ほぼ毎年 同じ場所だ
フデリンドウは 草むらに埋もれるようにして 咲いている
その姿は まるで 背のびをしているようで かわいらしい
今年の この厳しさの中 秋を待ちながら
咲く時期をこころえていた 小さな花達である
日本原産であるリンドウは 日本国中に 約20種ほど自生している
釣鐘型をした花びらは
上を向いて咲く まるで 空に向かって 花を開いているようだ
そして 日光が当たっている時だけ 花を咲かせる
日陰や日没後は 花を閉じている
リンドウは 花を開いたり 閉じたりしながら
やがて つぼみのように 花を閉じたままになって 一生を終えるのである

神よ 恵みの御業は 高い天に広がっています
あなたは すぐれた御業を行われました
神よ 誰があなたに並びえましょう